

<学力調査による児童の実態>

教科	全国学力		県学力	
	6 国語	6 算数	5 国語	5 算数
全国	67.2	62.5		
長崎県	66	60	69.4	69.7
長崎市	67	61	69.2	70
本校				

<本校の課題>

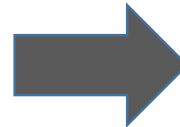
- 基礎・基本の定着が不十分である。加えて、既習事項を基に、考えたり、活用・応用したりする力が不足している。
- 文章の読解力が不足していて、問題を正しく理解することができていない。
- 複数の資料を関連付けて考える力が不足している。（関連付けて考える経験が少ない）
- 問題に適切に答える力や条件作文（要約、感想等）など、書く力が不足している。

学校教育目標

自分・人・ふるさとを愛し 新たな時代を生き抜く 児童生徒の育成

<目指す児童の姿>

- ◎国語科、算数科の学年末テスト（市販）で下記の全校平均を目指す。
 国語科：知・技 90%、思・判・表 90%
 算数科：知・技 95%、思・判・表 90%
- 基礎・基本の定着と活用・応用力の向上
 ・言語事項の習得、漢字の活用力の向上
 ・既習事項を基に考え、問題解決していく力の向上
- 問題解決能力の向上
 ・問題場面や問われていることを正しく読み取って理解し、適切に答える力の向上
- 表現力の向上
 ・読み取ったことや、自分の思いや考えを整理して、話したり書いたりする力の向上



学校<全教科で共通した取組>

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	家庭・地域との連携
○めあてとまとめ、振り返りの徹底。 ○読み、書き、計算の基礎基本の定着。 ・「基礎・基本の時間(算数科・国語科)」の全校一斉実施（ 国語科では条件作文の練習 ） ・言語事項（漢字、言葉、文法、ローマ字）を習得し活用するための指導の工夫（ 週末の課題、キュビナ活用等 ） ・文章を正しく読み取る指導の工夫（ 線や印を入れる習慣 ） ・キュビナの活用	○問題解決能力、表現力の育成。 ・教科書を活用して、様々な問題にチャレンジできる指導の工夫 ・各教科の授業で、「対話」や「書く」学習活動を設定し、考えを深めたり、表現したりする力を高める指導の工夫 ・表現力（話す・書く）を高める指導の工夫	○学ぶ意欲の向上と学習習慣の定着。 ・系統立てた話型、聴型の定着、及び、ガイド学習の推進 ・ 目標や目的意識を明確にもたせた学習活動の推進 ・全校一斉学期末テストの実施	○家庭学習の習慣化。 ・「よくわかる伊王島小学校」の活用 ・家庭学習メニュー表の活用 ○家庭での生活習慣の見直し。 ・通信端末機使用の我が家のルールの徹底 ・「 早寝・早起き・朝ごはん 」の定着

◆教師の指導力向上 ・校内研究の充実による授業改善 ・「あじさいスタンダード」の活用	◆複式指導 ・「わたり」「すらし」を意識した授業計画と教材研究によるガイド学習の定着 ・学習の見通しをもたせることによる自主学習力の育成	◆特別支援教育 ・児童の実態把握と共通理解及び指導方法の工夫 ・授業のユニバーサルデザイン化の推進	◆ICT機器活用 ・ICT機器（chromebook、電子黒板、書画カメラ、デジタル教科書等）の効果的な活用 ・プログラミング学習の推進	◆読書活動 ・図書館司書の活用 ・読書活動の推進と図書館の積極的な活用
--	--	---	--	---